

■(浜田)アメリカ彦蔵(ジョセフ=ヒコ) 漂流者、通訳、貿易商。日系アメリカ人第一号となり、来日して“新聞の父”に。

あめりかひこぞう

大塩平八郎乱1837= 播磨国加古郡で生まれ、
適塾オブン・1838= 1歳：父が死去、母の再婚した浜田家に育ち、

阿部正弘首座1845= 8歳：
孝明天皇・・・1846= 9歳：

国定忠治磔・1850=13歳：母も死去。江戸からの帰途海難にあい、漂流50余日でアメリカ船に救助され、
尊徳報徳論・1851=14歳：サンフランシスコに到着、
万次郎帰国・1852=15歳：*帰国のため香港に着くも、ペリー艦隊に合流できず再びアメリカに入ると、
ペリー来航・1853=16歳：ニューヨークに連れられピアース大統領に謁見、
開国開港・1854=17歳：ボルチモアのミッション・スクールに入学し、受洗してジョセフを名のるようになり、
安政大地震・1855=18歳：

蕃書調所・・・1857=20歳：現地の新聞報道で社交界の寵児となり、ブキャナン大統領にも謁見、ブルックと知り合い、
五ヶ国条約・1858=21歳：*アメリカに帰化し、ジョセフ・ヒコ Joseph Hecoと称するに至る。ブルックが測量艦書記として日本近海に
向かうことになったのに便乗して、

安政の大獄・1859=22歳：アメリカ領事の通訳として来日、日米通商条約の実施、遣米使節の派遣など外交交渉に活躍。
桜田門外変・1860=23歳：領事館を辞めて貿易商館を開くなどしながら、
遣欧使節・1861=24歳：再渡米、
生麦事件・・・1862=25歳：*リンカーンに会った後、帰国定住し、「ビジネス・サーキュラー」を発刊、
8月18日政変1863=26歳：「漂流記」を上梓、長州藩の外国船砲撃<馬関戦争>の際、職責上ワイオミング号に乗り下関砲撃に参加。
禁門の変・・・1864=27歳：英字新聞を翻訳した「海外新聞」を発刊し、
薩摩藩士密航1865=28歳：<リンカーン暗殺>を速報した。
薩長同盟・・・1866=29歳：横浜を去って長崎に向かい、
大政奉還・・・1867=30歳：木戸孝允・伊藤博文の訪問を受け、
明治維新・・・1868=31歳：故郷に戻り、
戊辰戦争終・・・1869=32歳：大阪造幣局の設立に助力し、

学問のすすめ1872=35歳：大蔵省にはいり、渋沢栄一のもとで国立銀行条例の編纂に従事するが、
明治6年政変1873=36歳：
佐賀の乱・・・1874=37歳：*辞職し、
初の民間工場1875=38歳：神戸で製茶の輸出貿易を開始、

西南戦争・・・1877=40歳：この頃、結婚して神戸に定住、

明治14年政変1881=44歳：新式精米所も始め、
新体詩抄・・・1882=45歳：

秩父事件・・・1884=47歳：その蒸気機関を貸して神戸に始めて電燈をつけ、

国民之友始・1887=50歳：神経痛治療のため上京し、
初の対等条約1888=52歳：転居、
帝国憲法発布1889=53歳：

足尾鉍毒始・1891=54歳：

郡司千島探検1893=56歳：「開国之滴」を出版、
日清戦争始・1894=57歳：
日清戦争終・1895=58歳：「The Narrative of a Japanese」(邦訳「アメリカ彦蔵自伝」)。

八幡製鉄始・1897=60歳：心臓病のため、没した。